

1. 科目名(単位数)	体育 (幼) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2280						
2. 授業担当教員	山内 健次								
4. 授業形態	実技を中心に実施し、適宜講義(実技で扱えない領域・保健領域)やディスカッション、グループでの発表を行う。	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	子どもと健康、保育内容(健康)との授業関連が深い。								
7. 講義概要	<p>今の日本では生活習慣病の予防・改善や平均寿命の延伸などにより、運動やスポーツ、健康への関心が高まってきている。このことから、体育は生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために重要な科目となっている。また、子どもの体力は低下しており、幼児や児童の体力向上のために体育は重要な位置づけとなる科目である。</p> <p>この授業では、小学校学習指導要領や幼稚園教育要領を踏まえ、教育現場で実際に指導を行える能力を学習していく。学習指導要領に応じて、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てることができるようになるとともに、健康の保持増進、体力の向上を養うための技能や知識を身につけ、指導できるようになることを目的とする。また、幼稚園教育の現場で行われる運動を指導できるようにすることを目的とする。</p> <p>・幼稚園「健康」・小学校学習指導要領における「体育」の目標、内容の概要を捉え、「健康」および「体育」の位置づけを理解する。さらに各領域におけるおもな運動を実技を通して経験することで、その運動特性を自身の身体で捉え、健康・体育指導に必要な最低限の技能を身につけることができるようにする。具体的には以下の①②に示す通りである。</p> <p>①正しい運動の方法を理解し、正しく運動ができるようにする。 ②ただし各種運動を指導できるためのポイントを押さえ理解する。</p> <p>・さまざまな子どもたちにおける個に応じた実技指導やその評価計画について理解することができるようにする。</p>								
8. 学習目標	<p>本講義を履修することによって以下の項目を達成することを期待する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今日までの幼・小の体育授業の位置づけについて理解することができる。</li> <li>2. 小学校体育科指導に際して各運動領域における基本的運動技能を理論的に学び、各種運動のポイントとなる動きを理解し、個の発達や特性に応じた指導方法を身につける。</li> <li>3. 幼稚園教育の現場で行われる運動については、正しい指導ができるとともに基本的な運動の模範を見せることができるようにする</li> <li>4. 体育指導を行う上での教師の留意事項や基本的な役割を身につけることができる。</li> </ol>								
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>課題1. 実技試験(マット・跳び箱・鉄棒あそびの補助等)</p> <p>課題2. 授業内で行った運動あそびを振り返りシートにまとめたものを課題レポートとして提出。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 使用しない(授業内で配布したプリントを使用する)</p> <p>【参考書】 体育遊び研究会編『園児いきいき 体育あそび200選』かもがわ出版 日本発育発達学会編『幼児期運動指針 実践ガイド』杏林書院 財団法人 日本体育協会監修『アクティブ・チャイルド60min』サン・ライフ企画 前橋明編著『子どもの未来づくり 幼児の体育』大学教育出版 小林寛道監修『運動が体と心の働きを高める スポーツ保育ガイドブック』静岡新聞社 河田隆編著『幼児体育教本』同文書院 前橋明著『0～5歳児の運動あそび指導百科』ひかりのくに 東根明人・平井博史著『キンダーコーディネーション』全国書籍出版</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園教育の現場で行われる各運動領域における必要最低限の運動技能を身につけることができたか。</li> <li>2. 幼稚園教育の現場で行われる運動については、正しい指導ができるとともに基本的な運動の模範を見せることができるようになったか。</li> <li>3. 運動遊びの指導を行う上での教師の留意事項や基本的な役割を身につけることができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加態度</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>2. 課題レポート</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>3. 実技試験</td> <td>30%</td> </tr> </table> <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。 以上の結果を総合して評価をする。</p>			1. 授業への積極的参加態度	50%	2. 課題レポート	20%	3. 実技試験	30%
1. 授業への積極的参加態度	50%								
2. 課題レポート	20%								
3. 実技試験	30%								
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 運動できる服装で必ず参加して下さい。</li> <li>2. 協調性のある態度で授業臨んで下さい。</li> <li>3. 指輪、ピアス等の装飾品は授業前にとってください。</li> </ol>								
13. オフィスアワー	授業内でお知らせいたします。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	<p>オリエンテーション</p> <p>○本講義の意義と授業の展開についての説明</p> <p>○幼児期の体力の推移、基本的身体活動動作(平衡系・移動系・操作系)について</p> <p>○コミュニケーションを図るからだを使ったレクリエーションゲーム</p>	事前学習	本講義内容をシラバスにて把握したうえで授業に臨む。						
		事後学習	幼児の運動発達、基本的身体活動動作についての内容を整理しまとめる。						
第2回	<p>遊具・教具を必要としない運動あそび</p> <p>○基本の動きとなるあそび、じゃんけんあそび、力の運動あそび</p>	事前学習	運動あそびに使われる遊具や教具について、どのようなものがあるか調べてくる。						
		事後学習	じゃんけんあそび・バランスの運動あそびの						

			指導ポイントをまとめる。
第3回	集団あそび ○伝承あそび、鬼あそび	事前学習	伝承遊びや鬼遊びにはどのようなものがあるか調べてくる。
		事後学習	伝承遊びと鬼遊びが指導できるように指導のポイントをとめる。
第4回	器械運動あそび① ○マット（マットあそびの実際、前転の指導プロセスとその補助法）	事前学習	マット運動にはどのようなものがあるか調べてくる。
		事後学習	前転・後転運動が指導できるように指導のポイントをとめる。
第5回	器械運動あそび② ○マット（後転、壁倒立、側転の指導法と前転補助法、後転補助法の技能習得）	事前学習	マット運動を行う際の注意点を考えてくる。
		事後学習	側方倒立回転が指導できるように指導のポイントをとめる。
第6回	器械運動あそび③ ○跳び箱（開脚跳びの指導プロセスと補助法）	事前学習	跳び箱運動の運動特性について調べてくる。
		事後学習	跳び箱運動のアレンジを考える。
第7回	器械運動あそび④ ○平均台、たけうま	事前学習	平均台運動の運動特性について調べてくる。
		事後学習	平均台運動を指導できるように指導のポイントをとめる。
第8回	器械運動あそび⑤ ○鉄棒（ぶら下がり系・支持系の鉄棒あそび、回転系の鉄棒あそび 逆上がりの指導法）	事前学習	鉄棒運動の運動特性について調べてくる。
		事後学習	鉄棒運動が指導できるように指導のポイントをとめる。
第9回	大きなボールを使った遊び（ボールあそびのいろいろ、なかあて ドッジボール）	事前学習	ボールあそびの運動特性について調べてくる。
		事後学習	大きなボールを使った運動を指導できるように指導のポイントをとめる。
第10回	フープや棒を使ったあそび	事前学習	フープや棒を使った運動にどのような運動特性があるのか調べてくる。
		事後学習	フープや棒を使った運動を指導できるように指導のポイントをとめる。
第11回	リズム体操① ○パナポ体操、アンパンマンたいそうなど	事前学習	「ラジオ体操第一」を覚えてくる。
		事後学習	リズム体操の振り付けを覚える。
第12回	リズム体操② ○どうぶつたいそう 1・2・3・No.1 体操など	事前学習	第11回の授業で学んだリズム体操を確認してくる。
		事後学習	今回学んだリズム体操の振り付けを覚える。
第13回	長なわを使ったあそび	事前学習	長なわを使った縄跳び運動にはどのような運動特性があるか調べてくる。
		事後学習	長なわを使った運動をアレンジする。
第14回	短なわを使ったあそび	事前学習	短なわを使った縄跳び運動にはどのような運動特性があるか調べてくる。
		事後学習	短なわを使った運動をアレンジする。
第15回	バルーンを使った集団表現活動	事前学習	運動会ではどのような集団演技が行われているか調べてくる。
		事後学習	バルーンの演技を創作する。